

編 集 後 記

1 人生は選択の連続であるという．連続といっても選択
2 回数は高々可算個だろうと考えていた．ネットの記事に
3 よると，大人は少しでも意識した選択を 1 日に 35,000 回
4 しているらしい．つまり起きている間は 2 秒に 1 回は選
5 択している計算になる．車の運転をしていると 1 秒に 1，
6 2 回は何かを選択している気がするので，数万回のオー
7 ダーはそんなに大げさではない．食に関してだけで 1 日
8 に 220 回以上は選択しているとした論文もある▼選択で
9 きるのは選択肢があるからである．選択肢が多いとあれ
10 これ目移りする．実際，量販店の似たような靴下群から
11 1 つ選ぶのは悩ましい．選択肢が増えると選択が難しく
12 なることをジャムの法則，一般には決定回避(選択回避)
13 の法則というようだ．選択肢のいずれも輝いて見えるか
14 らか，いろいろの一長一短が目に入るからか．ベクトル
15 に順序をつけられないことと同じだ▼悩みの総量が一定
16 だとしたら，選択の悩みは選択肢の数が少ないほど深く
17 なる．レストランの沢山のメニューよりもキッチンカー
18 の三択メニューから選ぶ方が熟考するようなものだ．昭
19 和の怪物・江川卓投手はストレートとカーブしか投げな
20 かった．どちらも決め球だからバッターはつねに二択を
21 迫られた▼例えば東京から札幌にスキーに行くとする．
22 もし吹雪いたとしても折角来たのだからと雪山に向かう．
23 一方，札幌の人は天気が悪かったらやめるという選択を
24 する．選択しないという選択はパラドキシカルである．
25 しかし，人生で取り入れたい贅沢な選択だ．(編集部)